

平成20年10月31日

各 位

会社名 常磐開発株式会社
 代表者名 代表取締役社長 佐川 藤介
 (JASDAQ・コード番号 1782)
 問合せ先 取締役管理本部長 榊原 清隆
 TEL. 0246-72-1111

平成21年3月期第2四半期累計(連結・個別)業績予想との差異及び通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想について、平成20年8月7日付当社「平成21年3月期第1四半期決算短信」にて発表いたしました連結業績予想、平成20年5月15日付当社「平成20年3月期決算短信」にて発表いたしました個別業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年3月期 連結業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|--------------------------|-------|------|------|--------|
| 前回予想(A) | 5,200 | △280 | △280 | △270 |
| 今回予想(B) | 4,700 | △300 | △305 | △295 |
| 増減額(B-A) | △500 | △20 | △25 | △25 |
| 増減率(%) | △9.6 | - | - | - |
| (参考) 前期実績(平成20年3月期中間) | 6,299 | △67 | △68 | △82 |

(2) 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 前回予想(A) | 15,000 | 150 | 130 | 100 |
| 今回予想(B) | 14,500 | 110 | 90 | 75 |
| 増減額(B-A) | △500 | △40 | △40 | △25 |
| 増減率(%) | △3.3 | △26.7 | △30.8 | △25.0 |
| (参考) 前期実績(平成20年3月期) | 14,457 | 95 | 90 | △261 |

2. 平成21年3月期 個別業績予想の修正等

(1) 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 四半期純利益 |
|--------------------------|-------|------|------|--------|
| 前回予想(A) | 3,200 | △150 | △165 | △160 |
| 今回予想(B) | 2,450 | △216 | △226 | △207 |
| 増減額(B-A) | △750 | △66 | △61 | △47 |
| 増減率(%) | △23.4 | — | — | — |
| (参考) 前期実績(平成20年3月期中間) | 4,111 | 1 | △7 | △17 |

(2) 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------|--------|-------|-------|-------|
| 前回予想(A) | 10,000 | 100 | 60 | 45 |
| 今回予想(B) | 9,500 | 60 | 20 | 20 |
| 増減額(B-A) | △500 | △40 | △40 | △25 |
| 増減率(%) | △5.0 | △40.0 | △66.7 | △55.6 |
| (参考) 前期実績(平成20年3月期) | 9,253 | 72 | 35 | △277 |

3. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間(連結・個別)

売上高につきましては、子会社の建設事業において、当初第3四半期の計上を予定していた工事が子会社の工期短縮の努力により、売上計上時期が前倒しされたことにより250百万円の増加がありました。当社(個別)の建設工事において、当初第2四半期の計上を予定していた工事が、工期の延長契約により売上計上時期が第3四半期にずれ込んだことにより750百万円減少いたしました。その結果、連結売上高は500百万円の減少、個別売上高は750百万円の減少となり、前回予想を下回る見込みであります。

利益につきましては、子会社の建設事業売上高の増加があるものの、当社(個別)の建設事業売上高の減少が大きく、また、原材料価格の高騰による工事原価が増加したことにより、連結・個別ともに、営業利益、経常利益及び四半期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

(2) 通期(連結・個別)

売上高につきましては、通期において、第2四半期累計期間の修正理由の影響はありませんが、当社(個別)の建設事業において、公共事業の予算縮小、民間設備投資の時期の見直し及び手控えなどの市場環境のもと、受注競争の激化により受注高が減少し、連結・個別ともに前回予想を500百万円下回る見込みであります。

利益につきましては、連結・個別ともに、建設事業の売上高の減少及び公共事業、民間工事の競争激化による低採算工事の受注により、営業利益、経常利益及び当期純利益は前回予想を下回る見込みであります。

4. その他

1株当たりの期末配当金予想額(5円00銭)は従来通り変更ありません。

(注) 今回の修正値は、現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる可能性があります。

以上